

大学と地域を結ぶ現場密着型の学際的研究教育ネットワークの確立と地域医療リーダーの育成

Field interdisciplinary study for education of leaders associated between academia and residents

地域医療の地理的偏在が及ぼす高血圧状態への影響

Effect of geographic accessibility to community healthcare on hypertension

研究者紹介

- プロジェクトリーダー …… 並河 徹 Toru Nabika (学術研究院医学・看護学系医学部担当・教授)
- 研究代表者 …………… 奥山 健太 Kenta Okuyama (学術研究院医学・看護学系・地域包括ケア教育研究センター担当・研究員)
- 赤井 研樹 Kenju Akai (学術研究院医学・看護学系・地域包括ケア教育研究センター担当・講師)
- 木島 庸貴 Tsunetaka Kijima (学術研究院医学・看護学系・医学部担当・助教)
- 安部 孝文 Takafumi Abe (学術研究院医学・看護学系・地域包括ケア教育研究センター担当・助教)
- 磯村 実 Minoru Isomura (学術研究院人間科学系・人間科学部担当・教授)

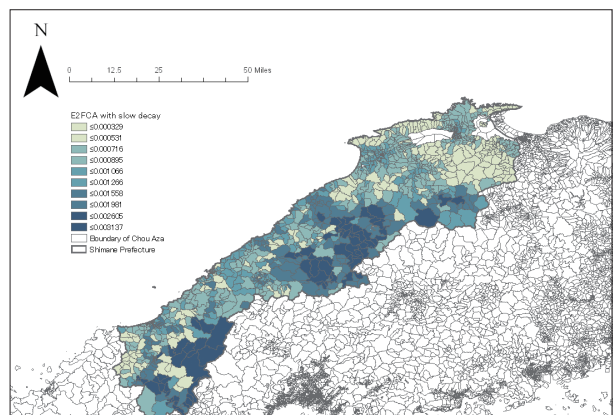
概要

血圧が高い状態を放置すると、脳梗塞や心筋梗塞など、重篤な疾患につながる危険性が高くなります。ほとんどの人が高血圧状態はよくないとわかっているにもかかわらず、日本の高血圧患者数は1,000万人以上にのぼり、減少する傾向が伺えません。島根県民の健康診断データを用いて、高血圧およびそれを放置する(服薬していない)ことと居住する地域の医療機関へのアクセスの良さの関係を地理情報システム(GIS)によって分析しました。分析の結果、居住する生活圏に診療所および2次医療機関(少し大きめの病院)が乏しい人は高血圧およびそれを放置してしまう危険性が高いことが明らかになりました。

High blood pressure could lead to serious chronic conditions, including stroke, and cardiovascular disease. Although most people know that being hypertensive is harmful, more than 10 million people are having vascular illnesses in Japan. This study investigated whether residential location matters to hypertension, as well as leaving hypertensive conditions untreated, by analyzing health checkup data of Shimane prefecture with geographic information system (GIS). Our findings suggest that those who have limited access to primary and secondary care facilities within their neighborhood had higher risk of having hypertension, and also leaving hypertension untreated.

特色・研究成果・今後の展望

島根県をはじめ多くの中山間地域を抱える地方では、特定の地域における医療機関や医師の不足が課題となっています。しかしながら、医療機関の分布が住民の健康状態とどう関連しているかを詳細に分析した例はあまりありません。そこで、医療機関の地域偏在を地理情報システム(GIS)により数値化し、高血圧との関連を検証することがこの研究の目的です。GISは位置情報をもとにデータを地図上で見える化したり、分析することができます。この研究では島根県環境保健公社との共同研究として、島根県および周辺地域の内科系の診療所および病院の位置情報と5万人の健康診断データを結びつけて分析しました。その結果、住んでいるところから自動車で30分以内の場所に診療所や病院がない人は、高血圧およびそれを放置してしまう(服薬していない)危険性が高いことがわかりました。また、若くて健康的な体格の人の方が高血圧状態を放置しがちであることもわかりました。今後は医療機関の地域偏在が重篤な循環器系疾患の発症にかかわるかを検証し、実際に国や県が医療資源を配置していくのに有用な情報を提供することを目指したいと思います。



島根県15市町の町・字ごとの診療所へのアクセス
(濃色=アクセスがよい、淡色=アクセスがよくない)

社会的実装への展望

この研究結果は、高血圧を予防するために、今後どこに医療資源を配置していくべきかを考えるうえで有用な情報を与えてくれます。また、若くて元気そうな人ほど高血圧状態を放置してしまう可能性があることから、高血圧が進行し重篤な疾患に至る前に、適切に医療機関の受診へつなげる必要性を示唆する点で重要な見解を与えてくれます。